

図書館だより 2017 1月

能勢高等学校図書館

明けまして おめでとうございます。

新しい本、入りました。



【コミック】



ちはやふる 33巻 末次由紀著 講談社
千早が仲間と挑んだ全国大会団体戦。最後の戦いを見守った太一が残したのは、次なる道とともに進むという約束だった。翌日、史上最多の出場者が集う個人戦が開幕。その頂点を決する場所・浦安の間。そこは、冬のクイーン戦へと続く舞台。千早はいまふたたび、女王・若宮詩暢に挑む。一方、新も、太一の決意を胸に勝ち上がる。強豪ひしめく最終戦。勝負の行方は!?

【歴史・地理】

平安時代大全 山中 裕著 ロングセラーズ
戦国時代大全 稲垣史生著
江戸時代大全 稲垣史生著

この本は、時代小説や時代劇を見るのに、知っていればより多く面白く、より多く得るところがあるよう意図して書かれたハンドブックである。事柄のエッセンスのみ、わかりやすく記述して時代劇の疑問に即答する。



【社会科学】

司書になるには 森 智彦著 ペリかん社

図書館運営に欠かせない司書。公共図書館はもちろん、2014年の学校司書法制化を踏まえて高校や大学図書館の仕事についても詳しく紹介。図書館の歴史から仕事内容、資格取得から就職の実際についてもわかりやすく解説する。



自然保護レンジャーになるには 須藤ナオミ著 ペリかん社
かけがえのない自然環境を守るために活躍する自然保護レンジャー。環境省の自然保護官(環境省レンジャー)と民間団体のレンジャー(パークレンジャー)に大別されるが、自然を愛する志は同じです。環境・景観の保全や希少動物の保護はもちろん近年では増えすぎたニホンジカやイノシシ対策や外来生物の防除など、生態系管理の側面も注目されています。レンジャーたちの現場を紹介。

今日も私は、老人ホームの看護師です 1, 2 鈴橋加織著

リーダーズノート出版

老人ホームに勤務する看護師が、「大好きな仕事で得た知識や経験を同業の仲間のために生かしたい」と描いたマンガ。最初から最後まで笑えるのに愛情あふれる一冊。看護や介護に従事する人はもとより、入居者家族にもおすすめ。抱腹絶倒のコミックエッセイ。



1500日 震災からの日々 岩波友紀著 新日本出版社
2011年3月11日。地震と巨大津波が東北地方太平洋沿岸を襲い、原発事故が起きた。女川町、大船渡市、川内村…。ひとりひとりの「その後」を描く14の物語を、被災からの日数を意識しつつ、写真で紹介する。

食育はやわかり図鑑 1, 2 藤原勝子編 群羊社

児徒も先生も興味シンシンな「食」の話題やビジュアルで表現された資料が満載のテーマ毎の指導事例。生徒自らによる調べ学習や家庭での食育の「図鑑」として幅広くご利用いただけます。

- 1 旬の野菜編
- 2 旬の魚+肉、だし編



現代貧乏物語 橋本健二著 弘文堂

格差の問題を約30年研究し続けてきた社会学者が、河上肇の「貧乏物語」の力を借りて「現代の貧困」にいどむ。さまざまな統計データ、調査データに基づいて、格差論のその先を論じる。

里山資本主義 藻谷浩介著 KADOKAWA

休眠資産を再利用することで、原価0円からの経済再生、コミュニティー復活を果たす「里山資本主義」。安全保障と地域経済の自立をもたらし、不安・不満・不信のスパイラルを超えるバックアップシステムを提言する。



【自然科学】

日本の野鳥識別図鑑 中野泰敬著 誠文堂新光社

身近に見られる鳥と日本で一般的に見られる野鳥を観察するとき役に立つ識別図鑑です。掲載種は約460種に絞りに、滅多に見ることができない種は掲載されていませんが、見られる確率が高い種や観察される頻度の高い種はほぼ掲載しされ、紛らわしさを排除して調べやすくなっています。また、初心者でも野鳥観察を十分に楽しめるよう、専門用語を使わない配慮もうれしい。



身近にある毒植物たち 森 昭彦著 SBクリエイティブ
道の傍ら、庭の隅、身近な畑や野山でひっそりと、あるいはあでやかに伸び咲き誇る植物。いずれも美しく、そしてときどき、なんだかおいしそう。けれどなかには、お馴染みの野菜や山菜に似ているのに一口で昏倒するもの、うかつに触れると悲惨な事態を招くものもあるのです。恐ろしくも、知っておきたいその世界をご案内。

新しい食品表示がわかる本 森田満樹著 女子栄養大学出版部

2015年に施行された「食品表示法」について、猶予期間は5年間ありますが、一部の例外を除いて全ての加工食品に栄養成分表示が義務化されます。表示の意味や事例を紹介。健康食品に関する表示の読みときかたも解説する。『栄養と料理』連載をまとめて単行本化。



【技術・家政】

明日、機械がヒトになる

海猫沢めろん著 講談社

機械が人間に替わる時代がきた!? 「機械の人間化、人間の機械化」の先にあるものとは? 小説家が日本屈指の科学者7人を取材し、AIからロボット、3Dプリンタまで、テクノロジーの最前線に迫る。



フランス人は10着しか服を持たない 1, 2

ジェニファー・スコット著 大和書房

上質な物を少しだけ持ち、大切に使う。日常のなかにささやかな喜びを見つける。フランスの貴族の家にホームステイした著者が、興味深いエピソードやユーモアをたっぷり織り交ぜながら、パリで学んだ上質な生き方を紹介する。

【産業・交通】

天敵利用の基礎と実際

根本 久著 農山漁村文化協会

施設と露地、作物ごとに天敵活用の基礎を整理、間違いのない活用法、減農薬につながる具体的各種技術を紹介。躍進著しいスペイン、国内の先進事例を多数収録。主要害虫別のバンカー法一覧や天敵類の放飼・効果確認法、天敵・害虫別索引など付録も充実。天敵活用による新しい防除段階を画す一冊。



コンビニ難民

小売店からライフラインへ 竹本遼太著 中央公論新社

小売業から物流、金融、そして公的手続きや災害支援など、社会インフラとしての役割を担い始めたコンビニ。雇用の創出や買い物難民の一助になるなど、日本が持続的発展を遂げるため、かかる期待も大きい。しかしコンビニ徒歩圏に居住する高齢者の割合は、わずか39%。すなわち全高齢者の6割がその利便性を享受できない「コンビニ難民」だった!

【芸術・体育】

西洋美術の歴史4

ルネサンスI

百花繚乱のイタリア、新たな精神と新たな表現

西洋美術の歴史6

17~18世紀

バロックからロココへ、華麗なる展開
小佐野重利編 中央公論新社



これならわかるオリンピックの歴史Q & A

石出法太著 大月書店

一冊でまるわかり、オリンピック史の光と影
人々に夢を与え、国際平和のイメージもあるオリンピック・パラリンピックだが、政治利用や商業主義、ドーピング問題など、負の側面もつきまとう。古代以来のオリンピックの歴史を、光と影の両面をふまえて一冊にまとめる。

【語学】

日米ボディートーク

身ぶり・表情・しぐさの辞典 東山安子著 三省堂

出会いのあいさつは、「握手」? 「お辞儀」? 日米のしぐさや顔の表情は、それぞれの文化に根づいています。なにげない日常の身ぶりが語るメッセージを読み解く異文化理解の必携書! 日本人とアメリカ人の身ぶり約150を、インタビューやアンケートをもとにイラスト付きで解説。



日本の助数詞に親しむ

飯田朝子著 東邦出版

数えることばの奥深さ
海にいるときは一匹の魚が、釣り上げられると一尾の魚。雲ひとつない青空、一座の入道雲、一筋の飛行機雲。…助数詞の成り立ち、それは日本人の視点を知ること。火鉢の数え方からメールの数え方まで、258種類の助数詞を語ります。

【文学】

百人一首がよくわかる

橋本 治著 講談社

「春の夜の 夢ばかりなる手枕に かひなく立たむ 名こそ惜しけれ」→→→
「春の夜の夢みただわ 腕枕 それで噂になったらごめんね」



あの名歌が意味はそのまま、面白くてわかりやすい現代語訳に大変身。橋本治の名訳と一首ごとの解説で理解を深める。



九十歳、何がめでたい

佐藤愛子著 小学館

動作音が静かになって接近に気付けない自転車、よくわからないスマホ、犬や子供の立てる騒音に苛立つ人たち、いたずら電話など、多彩な事象に憤り、嘆く著者の姿が描かれている。人間は「のんびりしよう」なんて考えてはダメだということが、九十歳を過ぎてよくわかりました。御年九十二歳、もはや満身創痍の佐藤愛子が、ヘトヘトでしぼり出した怒りの書。

みかづき

森 絵都著 集英社

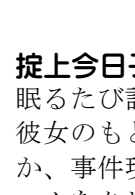
小学校用務員の犬島吾郎は、勉強を教えていた児童の母親、赤坂千明に誘われ、ともに学習塾を立ち上げる。女手ひとつで娘を育てる千明と結婚し、家族になった吾郎。ベビーブームと経済成長を背景に、塾も順調に成長してゆくが、予期せぬ波瀾がふたりを襲い—。



珈琲店タレーランの事件簿5

岡崎琢磨著 新潮社

アオヤマが理想のコーヒーを探し求めるきっかけとなった女性・眞子。11年ぶりに偶然の再会を果たした初恋の彼女は、なにか悩みを抱えているようだった。後ろめたさを覚えながらも、アオヤマは眞子とともに珈琲店「タレーラン」を訪れ、女性バリスタ・切間美星に引き合わせるが…。眞子に隠された秘密を解く鍵は—源氏物語。王朝物語ゆかりの地を舞台に、美星の推理が冴えわたる!



掟上今日子の家計簿

西尾維新著 講談社

眠るたび記憶がリセットされる名探偵・掟上今日子。引き受けた事件は即日解決の彼女のもとに、今日も悩める刑事からの難題が舞い込んだ。呼び出されたのはなぜか、事件現場ではなく遊園地。依頼は、ある事件の容疑者より速く、巨大な脱出ゲームをクリアすることで…?



掟上今日子の旅行記

西尾維新著 講談社

「エッフェル塔をいただきに参上致します。—怪盗淑女」不穏な犯行予告を阻止するため、パリに招かれた忘却探偵の掟上今日子。しかし怪盗の真のたくらみは、今日子さん自身にエッフェル塔を盗みださせることで…!? 奪われた記憶と華麗なる罠。助手役を担う隠館厄介は、怪盗の魔手から今日子さんを救えるか?